

## 平標山山行報告

【山行日】 2024年 6月 9(日) 曇り

【集 合】 岩舟支所 P AM 4:00

【費 用】 マイカー1台 : 2,300円

【メンバー】 CL:鈴木ユ、 SL:廣瀬フ、  
飯野、嶋田、鈴木ミ、並木、福島、藤原ト

【コースタイム】岩舟支所 P4:00=元橋 P5:40/5:55~

平元新道登山口 6:55/7:05~平標山の家

8:05/8:20 ~ 平標山 900/9:15 ~ 鞍部お花畑

9:25/9:40~平標山 9:55~松手山 11:00/11:35~

鉄塔 12:05/12:15~元橋P12:45/13:00=

赤城高原 SA14:05/14:20=岩舟支所 P15:30



平標山から仙ノ倉山に掛けての稜線は高山植物が群生し、そのお花畑をもう一度見たいと思い計画した。岩舟支所を4:00に出発し、北関東道から関越道を進み月夜野 IC で降りて国道17号線を



越後湯沢方面へ向かう。三国トンネルを抜けて苗場スキー場を過ぎ、しばらく進むと元橋駐車場に着く。広く舗装された駐車場は綺麗なトイレがあり、有料だが登山者にはとてもありがたい。

出発の準備を整えトイレを済ませ、ストレッチを行ったら出発する。トイレの脇から登山道を進み、道路を横切って川沿いの道を歩いて行く。

自然林の爽快な道を歩き、ブナやサウグルミの緑のシャワーが気持ちよい。やがて林道に出て、ここからしばらく林道を歩くと標識が立つ平元新

道登山口に着く。小休止して衣服調整と水分補給し、カラマツの林の中の登山道を登って行く。しばらく登ると九十九折れに登るようになり、やがて樹林が切れ視界が開けてくる。晴れていれば苗場

山が見られるが、今日は曇っていて遠望がきかない。

急斜面を頑張って登ると傾斜が緩くなり、山の家赤い屋根が見えてくる。平標山の家に着き、鐘のあるベンチで休憩し冷たいゼリーや菓子をいただく。晴れていれば仙ノ倉山の美しい稜線が望めるが、曇っていて何も見えない。

トイレを済ませ記念写真を撮ったら出発し、山の家脇の脇を通って平標山へ向かう。木道を進むとすぐに木の階段を登るようになり、展望は効かないがイワカガミ等のお花が出迎えてくれる。

晴れていれば笹のたおやかな斜面が気持ち良い道だが、視界は無くイワカガミやアズマシャクナゲの花に励まされ登って行く。曇っていて風があり涼しいのが幸いし、40分で平標山頂に着いた。



晴れていれば笹のたおやかな斜面が気持ち良い道だが、視界は無くイワカガミやアズマシャクナゲの花に励まされ登って行く。曇っていて風があり涼しいのが幸いし、40分で平標山頂に着いた。

風が強く汗ばんだ体が冷えるので、急いで防寒着を着こむ。ここからお花畑に向かって下って行くが、風が強く体が飛ばされないよう踏ん張って歩く。ガスも出て視界が良くないが、それでもハクサン



イチゲやハクサンコザクラ、ミヤマキンバイなどの花が咲き、皆さんから「ウワ～綺麗」「こんな綺麗なお花畑見たことが無い！」など歓声が上がります。風に飛ばされないよう気を付けながら写真を撮り、鞍部のベンチで皆さんに「仙ノ倉山まで登りますか？」と聞くと、「寒いので登らなくていいです。」との返事が返ってきた。鞍部の奥まで行ってお花を楽しんだら引き返し、平標山頂まで登り返す。山頂に着いたが風が強くガスで視界も悪い。直ぐに松手山に向かって下山開始する。

こちら側の斜面は風も穏やかで、寒さを感じずゆっくり下ることが出来る。視界も徐々に開けて展望が得られ、皆さんから「ウワ～見える、綺麗！」と歓びの声が聞こえてきた。ようやく皆さんに笑顔が戻り、展望やお花を楽しみながらのんびり

下って行く。展望が良い平坦な場所で休憩し、展望を楽しみながら菓子や果物をいただく。展望が得られるようになると、苗場山方面の山並みが見えるようになっていた。ハクサンイチゲが群生した場所で写真を撮り、展望が良い稜線を気持ちよく下って行く。イワカガミやツマトリソウ、ムラサキヤシオの花々に癒されながら下り、松手山まで下って来た。仙ノ倉山に行かなかったので時間が早いですが、ここでランチタイムにしてお湯を沸かす。大勢の登山者が休憩中で、少し狭い



がそれぞれ場所を確保しカップ麺やおにぎりをいただく。クラブツーリズムのパーティーが到着し、狭い山頂が一層賑やかになる。ランチが済んだら出発し、緩やかな稜線を下って行く。植生が大きく



変わり灌木帯の下りになり、ムラサキヤシオやタニウツギの花が見られるようになる。足元にはツマトリソウやミツバオウレンの白い花が見られ、楽しく下って行く。段々暑く感じるようになり、F原さんが「上衣を脱いでいいですか？」と言うので、すぐ先の鉄塔まで行き休憩を取る。上衣を脱ぎ冷たいプリンを食べて涼をとり、疲れを癒したら下山開始する。この先から樹林帯の長い下りになり、滑らぬように慎重に下って行くと林道に出る。林道を左に進み、橋を渡って右に曲がると駐車場に着く。

靴を履き替え、トイレを済ませたら車に乗り帰路に着く。途中、関越道の赤城高原 SA と、北関東道の波紫江 PA に寄って買い物し、予定よりも2時間早く岩舟支所に帰着した。

